



第二ぎんなん便り

社会福祉法人つなぐ育成会
熊本市手をつなぐ作業所
第二ぎんなん
平成28年11月25日発行
第366号

松岡さんの早すぎる死を悼む

当作業所の利用者、松岡義幸さんが、「心筋炎」(※隣のページ参照)という心臓の病気で、10月下旬より熊本赤十字病院に入院されていましたが、11月15日(火)午後3時30分に永眠されました。享年53歳でした。



まだまだこれからの人生があったはずの突然の死去でした。松岡さんの早すぎる死を悼むとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

松岡さんは、10月はじめから体調を崩されてお休みが続いていましたが、10月6日(木)～7日(金)の大牟田・柳川方面の一泊旅行には元気に参加されました。かんぼの宿柳川では、夕食後、得意のカラオケで持ち歌をたくさん披露されていた姿が印象的でした。

他の利用者や職員が松岡さんに会えたのも、この一泊旅行が最後となりました。

休みが続いて心配をしていた利用者も多く、突然のお別れで、特に松岡さんと同世代の人たちは悲しみにくっていました。

利用者の皆さんには、「松岡さんのご冥福を祈るとともに、松岡さんの分までがんばって生きていきましょう。」と話をしました。

松岡さんは、中学校を卒業後、いくつかの会社で勤務の後、10年ほど前に作業所にお出でになりました。社会のルールや規範をしっかりとし、誠実にまじめに努力する人で、その姿は、他の利用者の手本となっていました。

特に、担当していた信書便集配の業務では、担当者のリーダーとしての自覚を持ってがんばっておられました。集配先の区役所や出先の機関で丁寧に挨拶をされ、キビキビと信書便を運ばれる姿が強く印象に残っています。



一泊旅行でカラオケを歌われる松岡さん



熊本市の信書便集配の仕事に精を出される松岡さん

心筋炎とは ※あまり聞いたことがない病気なので、ホームページ(ヘルスケア大学)の要約を載せます。

心臓の筋肉(心筋)に発生した炎症のことを「心筋炎」と言います。(中略)。心筋に炎症が起きると、血液の循環を促すポンプ機能が低下する「心不全」や、心臓の拍動のリズムに異常が生じる「不整脈」を引き起こし、生命にかかわる危険な状態に陥ることがあります。40歳以下に起こる突然死の約20%が心筋炎が原因であると言われていています。(中略)。

感染してから発症までの期間も様々で、数時間から1～2週間、さらに長期化するケースもあります。治療によって、心臓の機能が正常に戻る場合もあれば、死にいたる場合もあります。

心筋炎の原因としては、ウイルスによる「ウイルス性心筋炎」が最も多くみられます。(中略)。

最も多いのは、急性心筋炎で、風邪のような軽い症状から始まることも多いため、受診が遅れたり早期の診断が難しい病気でもあります。

実りの秋 からいもの収穫

サツマイモの専門農家の塩井様のご厚意で、6月に畑の一部に、プロの苗、プロの植え方で、作業所も植えさせていただきました。

11月は収穫の時期。2畝の長い畑から、大きな芋が次々と出てきて、歓声ひとしきりでした。

収穫したからいもは、しっかり天日干しすることで甘みが増すようです。幸い好天が続いたので連日天日干しに励みました。

大きな芋も立派ですが、小さな芋も丸かじりできたり食材として調理で使うには便利なので、大きな芋から小さな芋まで、販売に向けて準備をしているところです。



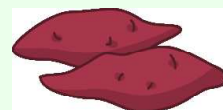
苗植え作業



収穫の喜び



天日干し



熊本聾学校から実習生

熊本聾学校高等部1年生の嶋村真実さんが7日(月)から11日(金)までの5日間、現場実習に来られました。

1年生ながら、とても活発で社交的な女子で、初日から利用者や職員となじんで、作業もよくがんばっておられました。

1年生なので、これからも、学校の勉強をしっかりがんばって、力をつけてほしいなと思います。実習ご苦労様でした。



朝のラジオ体操



リサイクル作業の様子



竹炭づくりに挑戦中

作業所では、箸やスプーンなどの竹製品を製作、先月は熊日すばいすにも紹介されました。

割ったり削ったりした後の竹は、今まで廃棄していましたが、それを竹炭として再利用できないかと考えました。

住宅地の新屋敷では無理なので、週2回行く農場の隅で竹炭を作り、ついでに焼き芋も焼いて……と。

先日、チャレンジしましたが、空気を遮断するタイミングが早すぎて失敗でした。この経験を生かして次はいい竹炭を作りたいと思います。



竹炭作り機



早すぎて失敗

熊福連フェア開催のお知らせ

今年も、12月5日(月)～9日(金)の5日間、県庁新館ロビーで「熊福連フェア」が開催されます。(5日12時10分からオープニング)

例年、多くの作業所や事業所から、クッキーやパン、農作物、手工芸など、たくさんの手作り製品が展示即売されます。第二ぎんなん作業所からも、竹製品などの製品を出品します。ぜひお立ち寄りください。



ずらりと並んだ各作業所のブース



くまモンも登場

巨大落花生「おおまさり」の収穫、販売

少し前になりましたが、落花生の産地、千葉県で品種改良された普通の落花生の約2倍の大きさのおおまさりを収穫しました。



5百円玉と比べると大きさが歴然

収量が少なかったのと生で日持ちがしないことで、大々的には販売できませんでしたが、大粒でやわらかく、非常に甘みが強く、塩ゆで豆に最適で、購入された方からは大好評でした。

インフルエンザ予防接種

朝晩の寒さや空気の乾燥とともに、インフルエンザが少しずつ広がり始めています。ある特別支援学校の分教室では、まだそれほど流行していない時期でしたが、6つある学級すべてがインフルエンザで学級・学年閉鎖となったと聞きました。

作業所では、10月28日(金)と割と早めに吉田病院で予防接種を受け、本格的な流行に備えています。

猛暑の時期もそうですが、施設設備上、冬の寒さも厳しい作業所ですので、うがいや手洗いなどを徹底して、冬場も元気に乗り切っていきたいと思います。



いよいよ紅葉の時期、街路樹や作業所近くの公園の木々も、色鮮やかな黄色や茶色を呈し、落葉が舞っています。一方で、やがて12月という今も、コスモスやさらにはひまわりもまだ元気に咲いている風景を見かけます。温暖化の影響もあってか、夏が長くなり、その分、秋が短くなってきているようです。今週後半、急に寒くなってきましたが、冬本番を迎える前のこの季節を大切に過ごしたいですね。(高橋)



農場にて(11/24)